

2学期を終えて

統括校長 川崎 貴志

今日で2学期が終わりました。2学期は1年で一番教育活動が充実する学期です。新型コロナが5類に下がったこの2学期は、ほぼ制限のない教育活動を実施し、充実を図ることができました。夏季休業中のハヶ岳移動教室、日光移動教室、いずみ学級宿泊学習をはじめ、運動会、粕江市民パレードでの6年生の鼓笛、4年ぶりの5年生の連合音楽会での合唱や演奏、いずみ学級の一中・緑野小と音楽交流、遠足や校外学習、生活科での町たんけん、総合的な学習の時間での校外活動や多くのゲストティーチャーを招へいした授業等々、実に多くの体験的な教育活動により、子供たちの学びの幅が格段に広がり、深めることができました。活動に関わってくださった、保護者の皆様、PTA役員の皆様、地域にお住いの皆様、地域ボランティアの皆様、市の行政の皆様等々、この場を借りて感謝申し上げます。

さて、今年も一小の子供たちに「漢検・今年の漢字」を募集しました。今年は去年よりも約50人多い132人もの子供たちが投票してくれました。先日、清水寺で発表された今年の漢字は「税」で、税に関する話題が多かったとのが選定理由だそうです。残念ながら、今年の本校の子供たちからは、税の文字を投票した子供は一人もいませんでした。一小で一番多かったのは「命」。続いて「続」「平」「幸」のでした。昨年度に引き続き、世界の平和に係る理由での漢字が多くを占めていました。日頃、屈託ない笑顔で学校生活を過ごしている子供たちも、世界情勢には不安を抱えていることが今年も子供たちが投票した漢字から窺えました。来年こそは、世界中の人々が心穏やかに生活できることを願ってやみません。

保護者の皆様には、この1年の教育活動への御理解と御協力をありがとうございました。来るべき新しい年が、皆様にとって素晴らしい年になりますことをお祈りいたします。